

腰椎疾患で手術を受ける患者の日常生活動作指導～入院早期からのアプローチを試みて～
に関する研究

1. 研究の対象

令和元年 8 月 28 日～10 月 31 日の間に腰椎固定術を受けられた方

2. 研究目的・方法

当院では入院時より毎日、退院指導計画書に沿って患者指導用紙を用いて患者様に手術後の禁忌肢位について説明し実践していただいています。それについて行動評価表を用い、行動・理解力を点数化していますので、手術後の禁忌肢位を守った日常生活動作を獲得し、どのように行動変容につながったのかを分析、評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1)患者基本情報 年齢，性別，病歴，BMI，日常生活自立度，生活背景
- 2)行動評価表のスコア

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 3西病棟 看護師 松下 瑞希

-----以上